

12月21日(木) 18:30~

会場：Zoom 及び国労会館大会議室



第 183 回定例研究会

誰でも参加できます。  
Zoom での参加の方は  
前日まで連絡ください。

## 生計費視点から全世代型 社会保障を考える

報告：中澤 秀一 氏（静岡県立大学短期大学部准教授）

### これからの企画

#### ◆第 184 回定例研究会

日時…1月18日(木) 18:30~  
場所…国労会館会議室&Zoom  
内容…「韓国の産業別労働組合の  
転換は何をもたらしたのか」  
報告…安周永氏

#### ◆第 185 回定例研究会

日時…2月15日(木) 18:30~  
場所…国労会館会議室&Zoom  
内容…未定  
報告…未定

### 社会保障のあり方について考える

社会保障制度とは、「国民による世代間の支え合いの制度」ではない。もし、そのような捉え方をすれば、社会保障制度に国や企業の負担が取り込まれている事実を理解できなくなってしまう。社会保障制度は、資本主義経済の発展過程において、人間らしく生きる権利を保障しなければ資本主義体制を維持することが困難になったがために誕生した政策である。それ故に、個人責任だけでなく、雇主や国庫の負担（＝社会的責任）を含む制度となっているのである。このような捉え方をすれば、現在、政府が推し進める全世代型社会保障は否定せざるを得ない。

報告では、社会保障のあり方を考えるうえで重要な視点となる生計費について、若者世代、子育て世代、年金受給世代の3世代の最低生計費試算調査の結果より、各年代であるべき“普通の生活”に必要な費用を明らかにする。そのうえで、それを実現するために必要な社会保障のあり方について考察する。

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町 55 番地 静岡交通ビル 3 階 301 号（静岡県評内）  
静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール [roudouadv@cy.tnc.ne.jp](mailto:roudouadv@cy.tnc.ne.jp) ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>